

## 眼瞼下垂とは

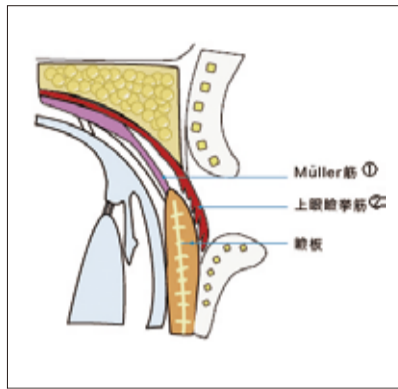
眼瞼下垂(がんけんかすい)とは、上まぶたが開きにくくなる疾患です。

先天的な理由でおこる場合や、加齢や病気、コンタクトレンズ装着などといった後天的な理由でおこる場合があります。



眼瞼下垂がおこると、まぶたが垂れ下がるために視野が狭くなったり、狭くなった視野を補おうとします。その為、眼精疲労や肩こりなどを引き起こす原因となります。

## 〈眼瞼の構造〉



- ①Muller筋→交感神経支配  
例えば…  
眠くなると副交感神経が優位になり、Muller筋が弛緩し、まぶたが下がる。
- ②上眼瞼挙筋→動眼神経支配
- ①と②によりまぶたを上げている。

## 原因疾患と治療

### ①先天性(片側性または両側性)

生まれた時から、筋肉や神経に何らかの障害がある為にまぶたが十分に上がらない。

(治療)・・・メガネ処方または、手術療法

### ②加齢性(片側性または両側性)

(症状)・・・視野が狭くなる。無意識に眉毛を挙上してまぶたを開こうとして眉やおでこの筋肉にいつも力を入れている事により、首～肩のこり、痛み、頭痛、冷え性、うつ状態など様々な症状を引き起こす。

(治療)・・・手術療法

### ③ハードコンタクトレンズの長期装用(片側性または両側性)

(症状)・・・加齢性の項参照

(治療)・・・手術療法

### ④重症筋無力症(片側性または両側性)

(原因)・・・体の中に抗アセチルコリンレセプター抗体という抗体ができ、これが筋肉の膜のアセチルコリンレセプターに結合するため筋肉が弱くなる。

(症状)・・・疲れた時に症状が出やすい(繰り返し筋肉を使うと脱力感や疲労感が出現する)

朝や休んだ後は症状が軽く、昼から夕方にかけて症状が憎悪する(日内変動がある)

眼瞼下垂(まぶたを冷やすと上がる)

複視(二重に見える)

(治療)・・・抗コリンエステラーゼ薬、ステロイド薬、免疫抑制薬などの内服治療

### ⑤動眼神経麻痺(片側性)

(原因)・・・脳梗塞、脳動脈瘤などで眼瞼挙筋を動かすための神経に障害が生じる

(症状)・・・複視(二重に見える)

散瞳(対光反射が消失ないし減弱)

(治療)・・・動脈瘤は緊急手術

### ⑥ホルネル症候群(片側性)

(原因)・・・視床下部から眼球まで走行する頸部交感神経路に障害が起こると生じる

(症状)・・・軽度の縮瞳(対光反射は正常)

軽度の眼瞼下垂

眼瞼狭小

### ⑦眼瞼けいれん(両側性または片側性)

不随意的にまぶたを上げることが出来なくなる(ジストニア)

(原因)・・・ストレス

抗うつ剤、睡眠導入剤、安定剤などの長期服用

本態性眼瞼けいれん(原因不明)

シックハウス(有機溶剤によるもの) など

(症状)・・・眼を閉じる筋肉の力が強すぎて眼を開けることができない本態性眼瞼けいれんでは突然まぶたが閉じ、しばらくの間まったくあけられなくなる

ドライアイ症状(眼がごろごろする、重い、しょぼつく など)

まぶしさ。眼を閉じているほうが楽。車の運転などで、突然目が開けられなくなる。うつなどの精神症状。

(治療)・・・ボツリヌス注射

手術(眼輪筋の切除)

対症療法/ドライアイに対してはサングラスをかけるなど下垂が気になるようであればスクラッチメガネまたは手術療法

### ⑧甲状腺機能亢進症(甲状腺眼症)

(原因)・・・甲状腺ホルモンの過剰な分泌

(症状)・・・本来、眼瞼下垂ではなく眼瞼が挙上するので、症状の起きていない方のまぶたが下がったように見える

眼球突出

下方視による瞼裂開大(まぶたの開きが大きい)

その他、発汗、動悸、頻脈、微熱、体重減少、食欲亢進、疲労感、イライラする、手指のふるえ、月経異常 など

(治療)・・・薬物療法

アイソトープ治療

手術療法

### ⑨眼瞼皮膚弛緩症

まぶたの皮膚がたるんで、まぶたが下がったように見える

(治療)・・・手術で皮膚のたるみをとる

### ⑩その他

ミトコンドリアミオパチー

筋強直性ジストロフィー など

## 無料講演会のお知らせ

◆「白内障・緑内障治療について」

◆「近視矯正手術無料講演会」

日時等、詳しい事は当院にお問合せください

# 久里浜眼科

横須賀市久里浜4-8-16  
(まんようクリニックビル)

## ☎046-833-0057

〈予約専用電話〉

☎046-835-8602

診療時間

平日【午前】9:00～12:15 【午後】2:30～6:15まで

休診日 日曜・祝日

土曜【午前】9:00～11:45 【午後】1:00～2:30まで

<http://www.kurihama-ganka.com/>